納品処理

統合生産管理システム

CiPS FACTORY







調べたい各項目をクリックすれば、 該当のページにジャンプすることが できます。

1.納品処理

- 1.納品処理の種類
- 2.バーコードで納品処理
- 3.選択行の納品処理
- 4.納品伝票入力(手入力)
- 5.CSVで納品処理
- 2.納品一覧・検収処理
 - 1.検収処理
- 2.その他機能

1 納品処理

1. 納品処理の種類

納品方法には、下記の4種類があります。

■ バーコードで納品処理

指示書に印字している製造番号バーコードを読み取って、一括で納品処理を行う方法です。 バーコードを使用することで、正確かつスピーディに処理ができます。

■ 選択行の納品処理

オーダー情報一覧にて、納品処理を行うオーダーを検索して、納品処理を行う方法です。 指示書が手元にない状態でも、簡単に処理ができます。

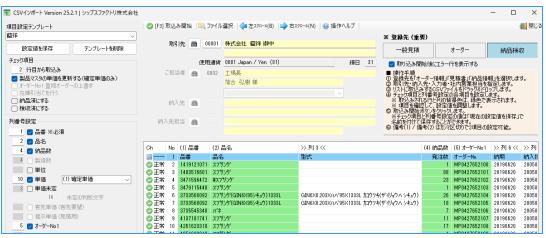
■ 納品伝票入力(手入力)

納品伝票入力にて、納品書を手入力で作成する方法です。 指示書のバーコードまたは検索アイコンから製造番号を検索して引用することができます。 オーダーに連動しない納品は、この手入力での納品にて作成することができます。

■ CSVで納品処理

CSVインポートにて、CSVデータを取り込んで、納品処理を行う方法です。

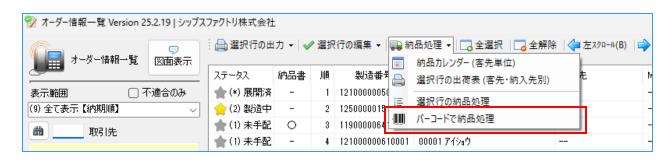




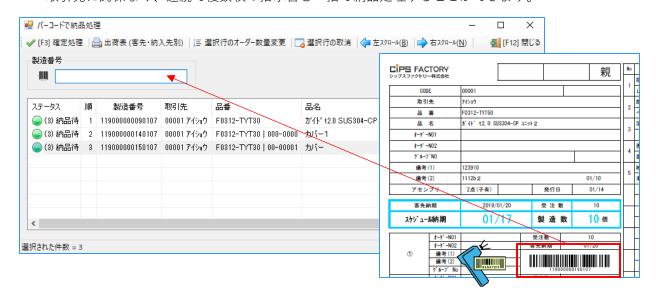
2. バーコードで納品処理

製造指示書に記載されているバーコード(製造番号)を読み取ることで、複数オーダーをまとめて納品 処理を行うことができるのが「バーコードで納品処理」です。

1. 「オーダー情報一覧|を開き、「納品処理|→「バーコードで納品処理|をクリックします。



2. バーコードで納品処理画面にて、指示書の製造番号バーコードを読み取ります。 バーコードを読み取ると、リストに読み込んだオーダーが表示されます。 取引先に関係なく、連続で複数枚の指示書を一括で納品処理することができます。



3. 納品処理をする指示書のバーコードを全て読み終わったら「確定処理」をクリックします。 確定処理を行うとダイアログが表示されるので、内容を確認して「納品処理実行」をします。 「納品処理実行」で納品処理が完了し、納品データが作成されます。



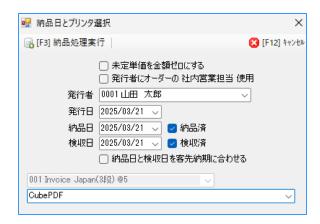
3. 選択行の納品処理

オーダー情報一覧にて、納品処理をするオーダーを検索し、行選択をして納品処理を行う方法です。

1. 「オーダー情報一覧」を開き、納品処理をするオーダーを検索します。 納品処理をする行を選択し、「納品処理」→「選択行の納品処理」をクリックします。



2. ダイアログが表示されるので、内容を確認して「納品処理実行」をクリックします。 「納品処理実行」で納品処理が完了し、納品データが作成されます。

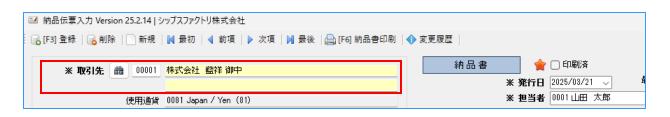


4. 納品伝票入力(手入力)

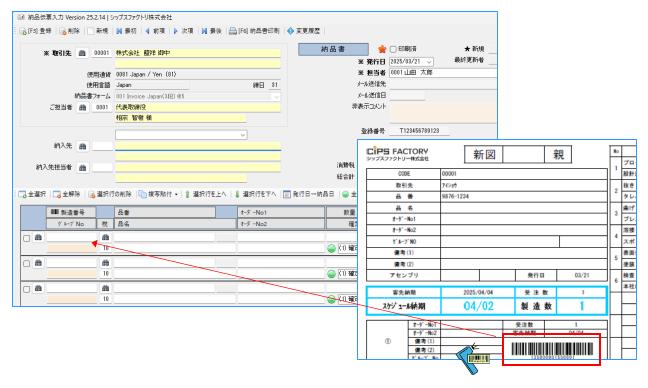
納品伝票を手動で作成して納品処理を行う方法です。納品書の入力では指示書の製造番号バーコードから作成する方法と、検索アイコンから製造番号を選択する方法、手入力する方法があります。

4-1. 製造指示書のバーコードから納品伝票を作成する

1. 「納品伝票入力」を開き、取引先を選択します。



 製造番号」の項目にカーソルを当てて、指示書の製造番号バーコードを読み取ります。 バーコードを読み取ると、オーダーの情報が反映します。



3. 反映した内容を確認し、変更があれば修正を行います。 納品日と検収日の日付を確認し、「納品済」と「検収完」にチェックを入れて「登録」をします。 「納品済」と「検収完」にチェックを入れることで納品処理が完了します。 チェックを入れずに登録した場合は、「未納品」となりますのでご注意ください。

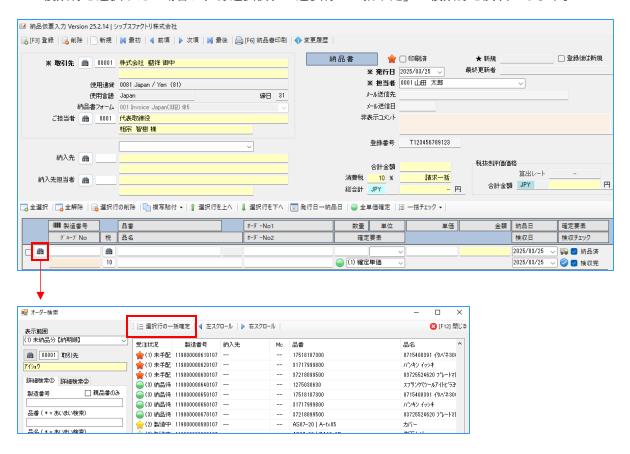


4-2. 検索アイコンから納品伝票を作成する

1. 「納品伝票入力」を開き、取引先を選択します。



2. オーダー検索アイコンをクリックすると、オーダー検索ウィンドウが開きます。 納品処理を行うオーダーを検索し、ダブルクリックで納品伝票に反映します。 複数行を選択したい場合は、行選択後、「選択行の一括確定」で複数行を反映できます。



3. 反映した内容を確認し、変更があれば修正を行います。 納品日と検収日の日付を確認し、「納品済」と「検収完」にチェックを入れて「登録」をします。 「納品済」と「検収完」にチェックを入れることで納品処理が完了します。 チェックを入れずに登録した場合は、「未納品」となりますのでご注意ください。

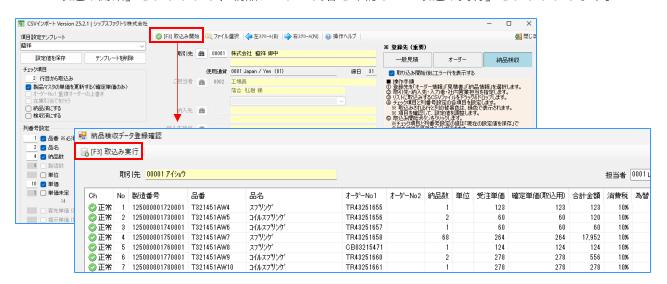


CSVデータを使用して納品処理を行う方法です。

1. 「CSVインポート」を開き、登録先を「納品検収」に選択します。



2. 項目設定テンプレートと取引先を選択し、CSVファイルをドラック&ドロップで取り込みます。 「取込み開始」をクリックし、納品データの内容を確認して「取込み実行」をクリックします。

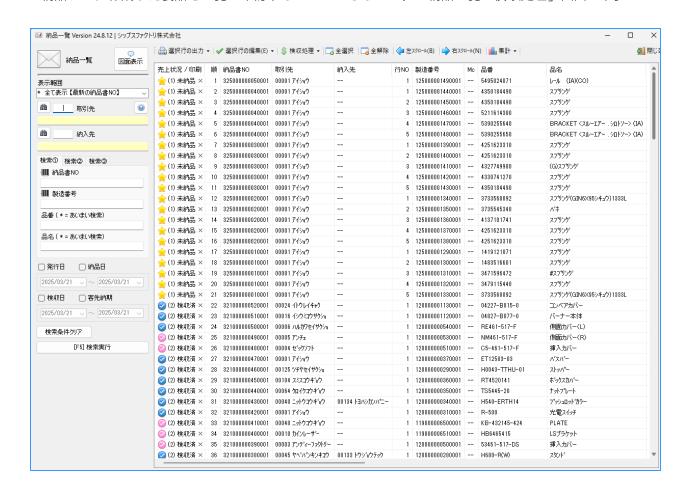


3. 納品書印刷のメッセージが表示されるので、印刷する場合は「印刷」をクリックします。 「閉じる」をクリックすると、取り込まれます。



2 納品一覧・検収処理

納品データ作成した製品を一覧で確認することができるのが、「納品一覧・検収処理 | 画面です。



1. 検収処理

未納品、未検収の納品データに対して、検収処理を行うことで請求書に計上することが出来ます。 「納品一覧 | →「検収処理 | から処理を行います。

1-1. 選択行で検収する

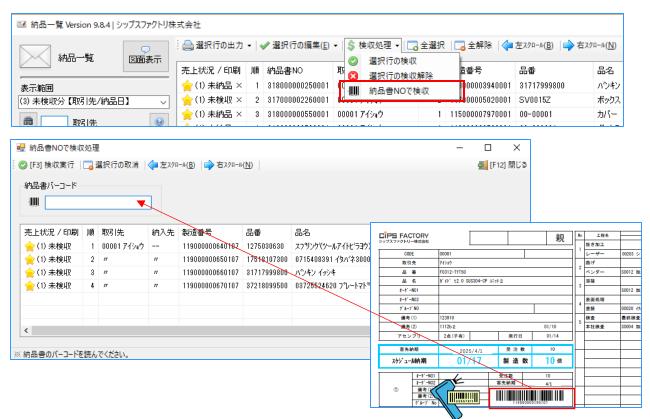
「納品一覧」→「選択行の検収」をクリックし、検収処理をします。





1-2. 納品書Noで検収する

「納品一覧」→「納品書Noで検収」をクリックします。 納品書バーコードを読み取ることで、複数のデータを一括で検収処理できます。



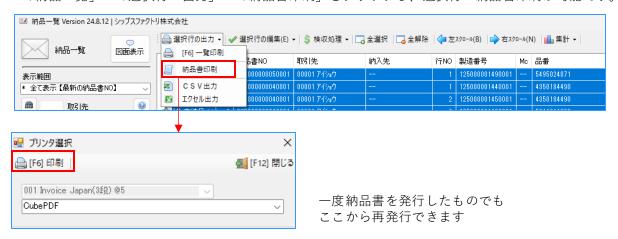
2-1. 選択行の一覧印刷

「納品一覧」→「選択行の出力」→「一覧印刷」をクリックし、選択行の一覧印刷が可能です。



2-2. 選択行の納品書印刷

「納品一覧」→「選択行の出力」→「納品書印刷」をクリックし、選択行の納品書印刷が可能です。



2-3. 選択行の一括変更

「納品一覧 | →「選択行の編集 | →「一括変更 | をクリックし、変更ができます。



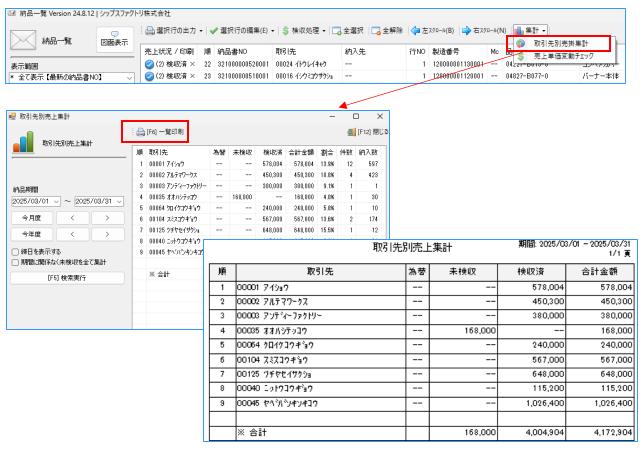
2-4. 単価編集

「納品一覧 | →「選択行の編集 | →「単価編集 | をクリックし、単価の編集ができます。



2-5. 取引先別売掛集計

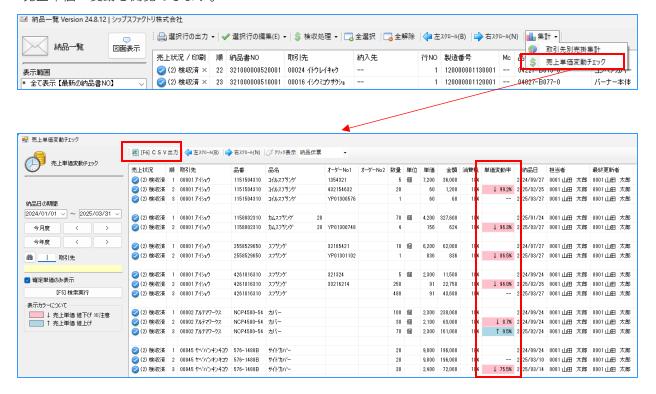
「納品一覧 | →「集計 | →「取引先別売掛集計 | をクリックすると、取引先別売掛集計が閲覧できます。



一覧印刷も可能です。

2-6. 売上単価変動チェック

「納品一覧」 \rightarrow 「集計」 \rightarrow 「売上単価変動チェック」をクリックすると、売上単価の変動を閲覧できます。



単価変動率が色分けされて閲覧可能です。また、CSV出力も可能です。